



若狭湾エネルギー研究センター理事長の石塚でございます。

皆様には、日頃から、当法人の運営に対し格別のご理解とご支援を頂き、誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

私どもでは、様々な分野での研究開発の成果について、毎年研究報告会を開催しておりますが、本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、弊センターのホームページに資料を掲載する形で開催することといたしました。

さて、当法人では、本年、第5期となる中期事業計画を策定し、「医療」、「育種」、「レーザー」、「宇宙開発」の4分野に重点を置き、実用化に向けた研究を推進しております。

具体的には陽子線とX線の併用による混合放射線療法によるがん治療の高度化、イオンビームを用いた植物・菌類の育種技術の開発、レーザー技術を応用した原子力発電所の廃止措置に向けた除染・切断技術の向上、イオンビームを用いた宇宙用電子部品の放射線耐性評価などに取り組んでおります。

今回の研究報告会では、福井大学 産学官連携本部の青柳先生に特別講演をお願いし、「福井大学における超小型衛星の開発」について講演いただくとともに、当法人の研究成果の中から、いくつかご報告をさせていただいております。また、公募型共同研究の成果についてもご紹介させていただいております。是非ご覧頂き、当法人の研究成果についてお知りいただくことで、新たな連携へと繋がれば幸いです。

最後になりますが、研究報告会の開催にあたり、多大なご協力をいただきました上田学長はじめ福井大学の皆さま、また特別講演をお引き受けいただきました青柳先生、そして、ご尽力を賜りました関係機関の皆さま方に厚く御礼を申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
理事長 石塚 博英